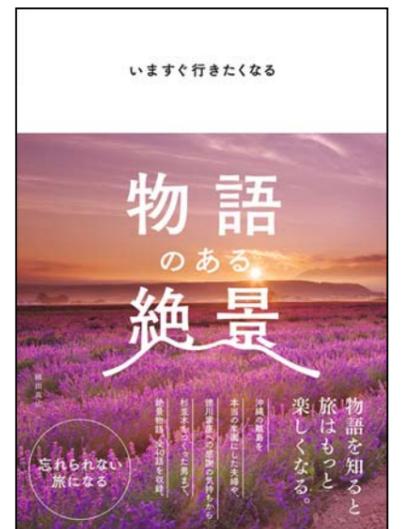


この夏、人生で 一番忘れられない 旅に出よう。

読んで旅する新感覚の本
『いますぐ行きたくなる 物語のある絶景』 5月20日発売

寝坊を
これほど後悔する場所は、
他にない。



日本各地の絶景と、 そこに秘められた物語

旅先でその土地にまつわる思
わぬ歴史や物語に触れて、その
旅が最後までずっと心に残るもの
になった経験はありませんか？
あるいは、好きな映画の舞台
や、尊敬している偉人ゆかりの
地に行くとき、いつもの旅より
一層楽しめたということはない？
そんな、旅と一緒に物語を味
わうときの「ドキドキ・ワクワク」
感を詰めこんだのが本書『い
ますぐ行きたくなる 物語のある
絶景』です。

黒部ダム、東尋坊、尾瀬、鳥
取砂丘、大内宿、英虞湾…日
本を代表する絶景には驚きのス
トーリーがありました。写真を
眺めるだけでも楽しい日本の絶
景に、そこで起こった心揺さぶ
る出来事を絡めあわせ、秀逸な
キャッチコピーとともに物語を
つづります。

↓裏面へ続く

知っ得

現地で雲海が出るかどうか気になる時は、期間中にホテルロビーで毎日開催される「あしたの雲ナビ」でチェックしましょう。見られるかどうかは天候次第ですが、6月～9月の間は30～40%前後の確率とも言われています。





函館市のほぼ中央にある五稜郭。現在は公園として人々の憩いの場となっています。

基本情報

1864年に完成した日本初の西洋式城郭・五稜郭。北方防備を目的につくられた星型の城塞で、堀の内側は約12万5000㎡、東京ドームの約3倍の広さです。【絶景時期】桜(夜はライトアップあり)は4月下旬から、紅葉は10月下旬～11月上旬です。11月下旬～2月下旬の間は、堀が約2000個の電球で彩られます。

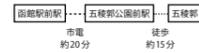
知っ得

すぐそばにある高さ107mの五稜郭タワーからは、五稜郭はもちろん、暗れていれば津軽海峡まで見渡せます。また、お花見時期の公園では、桜を見ながらジンギスカンを楽しめます。(要予約)



住所
北海道函館市五稜郭町44-2

アクセス



五稜郭 (北海道函館市)

戦地の贈り物

「この男の命は、なんとしても守らなくてはならない」
戊辰戦争中、明治政府軍を率いていた黒田清隆は、思いがけない贈り物を手にして決心しました。送り主は、敵である旧幕府軍の指揮官・榎本武揚。
明治維新後の1869年、両軍は北海道の五稜郭で最後の闘いを続けていました。追い込まれていたのは、榎本の率いる旧幕府軍。彼はわずかな生き残りとともに五稜郭に立てこもりました。その榎本のもとに「降伏せよ」との使者がやってきます。しかし榎本は降伏を断り、代わりに「海軍全書」というオランダ語の本を新政府軍に送ったのです。それは海上の国際法を論じた、日本の近代化に不可欠な本でした。榎本は機械工学や化学を学び、7カ国語を操ることができた当りきつての知識人。この本が戦火で失われると、日本の損失になることが分かっていたのです。本を受け取った黒田は考えます。

「これほどの知識と度胸と広い視野を持った男を殺すなんて間違っている」
黒田は、戦争中にもかかわらず看と酒を用意して榎本を招き、会談を開くのです。宴席で榎本は懇願しました。「自分を殺してほかの者を助けてほしい」
「榎本さんこそこれからの時代に必要な人物。その命、私が救いましょう」
黒田はそう答え、戦争にはピリオドが打たれました。戦後、榎本の死刑を望む声が多い中、黒田は助命を説得してまわります。最後は坊主頭になってまで榎本の命乞いをしたのです。
助けられた榎本は新政府の一員となり、得意の外国語で外交官の手腕を発揮します。やがて黒田が第2代総理大臣に就任すると、隣には大臣として黒田を支える榎本の姿がありました。

歴史を動かした場所はいま、
人の心を動かしています。



美しい景色には、美しい物語がある

世界中の爆弾が、
花火に置き換われれば
いいのに。

第二次世界大戦の犠牲者に対する
慰霊の祈りと平和への思いが
込められた色とりどりの花火。
夜空を彩るとともに、毎年人々の
心に勇気を与えます。



長岡まつり花火大会 (新潟県長岡市)

お花畑の真ん中で、
戦争をはじめる人なんていない。

1941年、太平洋戦争が勃発し、主食以外の作物の栽培が禁止されます。チューリップ農家の人々は、畑の隅にこっそりと球根を植え、ひっそりとその命をつなぎ止めました。そして戦後再び、守り通した球根で栽培を立て直しました。



砺波のチューリップ (富山県砺波市)

今までの絶景本とはひと味違う
旅先で「本当に楽しめる」絶景本

絶景は、秘境にあるがゆえに
肝心の景色を見終えた後、「こ
の後どうしようか…」と悩む
ことも多いです。また、その絶
景にたどりつくまでに迷いがち
でもありません。
これらの悩みを解決するた
め、本書ではその絶景周辺の観
光情報やアクセス方法も掲載。
また巻末には、巻末には登場す
る偉人たちの生涯も記載してい
るので歴史も楽しく学べます。
本書にはその物語を知った
ら、きっとその目で見たくなる
絶景が満載です。
どの絶景にも、その絶景を生
んだり守ろうとした人々の熱い
思いが詰まっています。想像を
超えた努力によって時代と常識
を動かした彼らの姿には、心を
揺さぶられます。
海外旅行もいけれど、日本
人に生まれたからには日本を
もっとよく知りたい。そんな動
機で国内の旅を楽しまれる方
も多いと思います。せっかく旅
をするのだから、ただそこを見
て「きれい」「すごい」で終わっ
てしまふのは、少しもったいな
いかもしれません。今度の旅
は、感覚を研ぎ澄ませて、物語
の主人公たちに思いを馳せてみ
ませんか。本当の意味では味わ

【AUTHOR】

ほそだたかひろ
黒田高広

一橋大学卒業後、コピーライターおよびクリエイティブディレクターとして大手広告会社に勤務する傍ら作家として活動。著作に『未来は言葉でつくられる』(ダイヤモンド社)、『名作アニメの風景50』(ピエブックス)などがある。広告では、クリエイター・オブ・ザ・イヤー、カンヌライオンズ金賞、NYクリオ金賞、スパイクスアジア金賞、アドフェスト金賞、ACCグランプリ、TCC新人賞など国内外で受賞多数。近年では若手クリエイター育成のため、アジア全域でセミナースピーカーや講師を務めている。

えない景色というものが確かに
存在しています。きつと、ここ
には今までになかったような心
ときめく体験が待っているはず
です。
写真で、美しい絶景を眺める
ことはいつでもできませんが、や
はり自分で足を運んで目にする
景色は格別なものです。「遠い
から」「行きづらいから」を言
い訳にせずに、今年の夏は忘れ
られない景色を味わいに行きま
しょう。
いつもと趣向を変えた、大人
の旅がしたい方へ。今すぐ行き
たくなる、物語を持った絶景が
日本にはたくさんあります。

リリースに関するお問い合わせ
株式会社文響社 広報担当
TEL : 03-3539-3737 / FAX : 03-3539-3738
E-mail : info@bunkyo.com